

ペット研究会「マンスリーレポート」ウェブサイト掲載のお知らせ

旭化成ホームズ株式会社（本社：東京都 新宿区、代表取締役社長：波多野 信吾）は、平成 21 年 3 月 31 日より、戸建住宅商品ヘーベルハウスのウェブサイト上に、「ペット研究会」による調査結果を掲載する「マンスリーレポート」のページを開設しました。住宅に関わる視点からだけでなく、ペットと関わる住まい方や風俗などに関する調査結果も掲載していきますので、ご参照ください。

掲載ウェブサイト <http://www.asahi-kasei.co.jp/hebel/pet/kenkyu/monthly/>

（ロングライフ住宅ヘーベルハウス>ペット研究会>ペットに関する研究>マンスリーレポート）

1. 当社のペットに関わる活動の沿革

当社は平成 10 年 10 月にペット研究会を発足、当社住宅のご入居宅訪問調査・アンケート調査を行い、平成 12 年 10 月に業界に先駆けてペット共生住宅「ヘーベルハウス プラスわん・プラスにゃん」を発売しました。当時は、ペットを「家族の一員」と捉えた「ペット共生」の考え方はまだ広く認知されていない状況で、発売と同時に各種マスコミや一般ユーザーからのお問い合わせが殺到しました。

平成 15 年 8 月には「プラスわん・プラスにゃん」をリニューアル、特に近隣や来訪者への配慮を強化して「ペットも社会の一員」という捉え方を更に強く提唱しました。

その後も「ペット共生社会」の一層の進展のため、ご建築検討者向けセミナー・個別の建築計画設計提案やウェブサイトなどを通して、ペットに関わる情報を発信してきました。それとともに、ペット共生住宅の推奨仕様改良やご入居宅訪問調査など、ペット研究会を中心に地道な研究活動を続けてきました。

今回開設する「マンスリーレポート」では、ペット研究会の調査・研究の範囲を拡大し、定期的に情報を発信していく予定です。住宅に関わる視点からだけでなく、ペットと関わる住まい方や風俗など従来以上に幅広い内容について調査・研究することで、ペットと人・住宅との関わりをより深く知ることができ、更にはその研究結果を今後の商品開発にも役立てることができると期待しています。

2. 第 1 回調査の概要

調査名称：ペットを飼ったきっかけ

調査時期：平成 21 年 2 月 3 日から 6 日までの 4 日間

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の、家の中で猫・犬を飼っている人

回答者数：有効回答 461 件

主な結果

「その子はどこから来たの？」・・・イヌは買う、ネコは拾う

「その子を飼うきっかけは？」・・・子イヌはかわいい、子ネコはかわいそう

「寒さ対策の工夫は？」・・・イヌは服、ネコはもぐる

< 本件に関するお問い合わせ先 >

旭化成ホームズ株式会社 広報室 岩本、帯屋、三和 tel 03-3344-7115

〒160-8345 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル